

アフガン編みの チェック柄ワンハンドルバッグ



デザイン／梶 成子 (アトリエ seeds)

<使用道具>

54-920
「匠」ダブルフックアフガン針<10号>
<https://clover.co.jp/products/54920>

※54-910 「匠」アフガン針<10号>でも編めます

55-756 ステッチマーカー<M>
55-003 とじ針No.13
36-666 カットワークはさみ115



<材料>

a糸: 並太毛糸 (ハマナカ「あみぐるみが編みたくなる糸並太」
ベージュ(516) 約42g (2玉)

b糸: 並太毛糸 (ハマナカ「あみぐるみが編みたくなる糸並太」
ホホワイト(501) 約26g (2玉)

<編み方>

※この作品は、ダブルフックアフガン針を使いますが、片方のかぎだけを
使って通常の(シングルフックの)アフガン編みで編みます。

① バッグ本体の編み地を編みます (編み図はP4)。

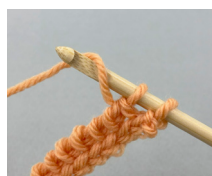
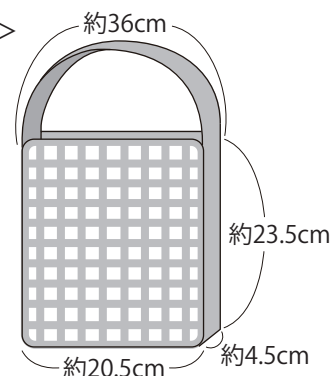
(1) a糸で作目目を33目作ります (くさり編みは後で裏山を拾うので、ゆるめに編みます)。

(2) くさりの裏山を拾い、表編みで1段編みます。

2段目で糸の色を変えるので、最後の戻り目(右端)を編む前にa糸を針の前から
後ろに掛けて休めます。b糸で引き抜き、色を替えます。

【色の変え方(戻り目の右端の編み方)】 ※画像は編み目を見やすくするため
別の糸を使用しています。

<出来上がりサイズ>



a糸を手前から後ろに
掛けて休める



b糸で一度に引き抜く



引き抜いた状態



続けてb糸で2段目を編む

(3) 2段目はb糸で表編みをします。行き目の最後(左端)の1目は、前段のタテ目と裏側の2本を拾います。
続けて戻り目を編みます。

【行き目の左端の編み方】



左端は、通常拾うタテ目とその左奥にあるタテ目を拾う



b糸で引き抜いた状態

最後の戻り目を編む前に、休めていたa糸を針の前から後ろに掛けて休めます(次にa糸を使うのがもう一段後になるため。このようにすると裏に渡る糸が短くなります)。続けてb糸で引き抜きます。



休めていたa糸を手前から
後ろに掛けて休める



b糸で一度に引き抜く



引き抜いた状態



続けてb糸で3段目を編む

(4)3段めはそのままb糸で続けて編みます。
最後の戻り目を編む前に、b糸を針の前から後ろに掛けて休めます。
休めていたa糸で引き抜き、色を替えます。

(5)4段めはa糸で表編みを2目編み、3目めは「変わり長々編み引き上げ編み」を編みます。

★変わり長々編み引き上げ編み 編み方



長々編みの要領で、
針に糸を2回巻く



3段下にある、通常拾うタテ目と、
その右奥にあるタテ目を拾う



タテ目2本に
針を入れた状態



糸を掛けて引き抜き、
後は長々編みを編む



変わり長々編み引き上げ編み
ができた状態



次からは、「表編み3目、変わり長々編み引き上げ編み1目」を繰り返します。
左端は、「長々編み引き上げ編み1目、表編み2目」で終わります。



行き目が編めたら、戻り目は普通に編みます。

(6)5段め以降は編み図を参照して編みます(31段めまで)。

(7)a糸で引き抜き止めをしてバッグ本体の編み地が1枚完成です。

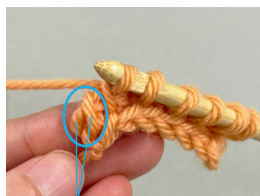
(8)同じものをもう1枚編みます。

②持ち手(マチ)の編み地を編みます(編み図はP4)。

(1)a糸で作り目を7目作ります(くさり編みはゆるめに編みます)。

(2)くさりの裏山を拾い、表編みで137段編みます。

2段め以降の行き目の最後(左端)の1目は、本体の時と同じように前段のタテ目と裏側の2本を拾います。



左端は、通常拾うタテ目とその左奥にあるタテ目を拾う

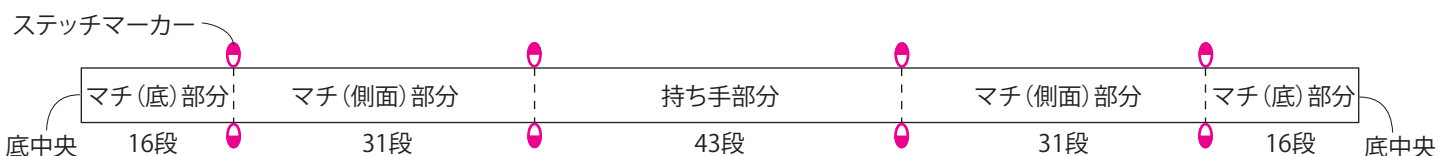


引き抜いた状態

(3)137段めから続けて引き抜き止めをして、持ち手(マチ)の編み地の完成です。

③バッグ本体と持ち手(マチ)の編み地を細編みでつなぎます。

(1)下図のように持ち手(マチ)の編み地に、ステッチマーカーでしるしを付けます。



(2) バッグ本体と持ち手(マチ)の編み地を外表に合わせます。

まず本体の底部分の中央と持ち手(マチ)の端を合わせ、後は(1)で付けたステッチマーカーを目印にして合わせてください。P4の＜本体と持ち手(マチ)のつなぎ方図＞もご覧ください。

(3) 本体側を見ながら、細編みでつないでいきます(a糸を使います)。※画像は分かりやすいように糸を変えています



本体と持ち手(マチ)の編み目に
このように針を入れる



くさり編み1目で立ち上がり、



同じ目に細編みを1目編む



続けて細編みで本体と
持ち手(マチ)をつないでいく

(4) 16段めまで編めたら、17段めからは本体の側面の目を拾っていきます。



16段めまで編めた状態



本体の側面の目に針を入れる
(持ち手(マチ)は16段めから続
けて同じように針を入れる)



角はこのようになる。
続けて細編みでつないでいく

(5) 48段めから90段めは持ち手になります。47段めから続けて持ち手(マチ)に細編みで縁編みをします。



47段めまで編めた状態



持ち手(マチ)の目だけに
針を入れる



細編みで持ち手に縁編みを
していく

(6) 91段めからは再びバッグ本体と持ち手(マチ)を細編みでつないでいきます。



90段めまで編めた状態



バッグ本体の側面の目と
持ち手(マチ)の目に
針を入れて細編み



続けて細編みで本体と
持ち手(マチ)をつないでいく

(7) 最後(本体の底中心)まで来たら、最初の細編みの目に引き抜きます。

糸端をカットして始末します。



137段め(最後)が編めた状態



最初の細編みの目に針を入れ、糸を掛けて引き抜く



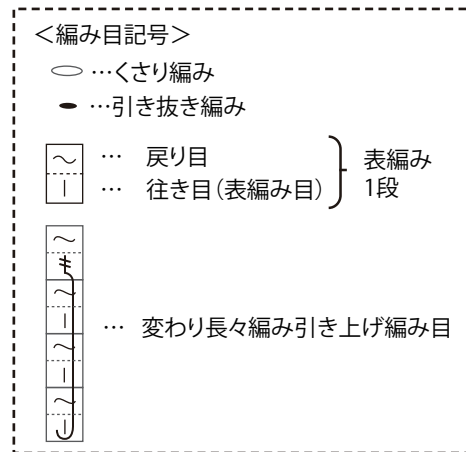
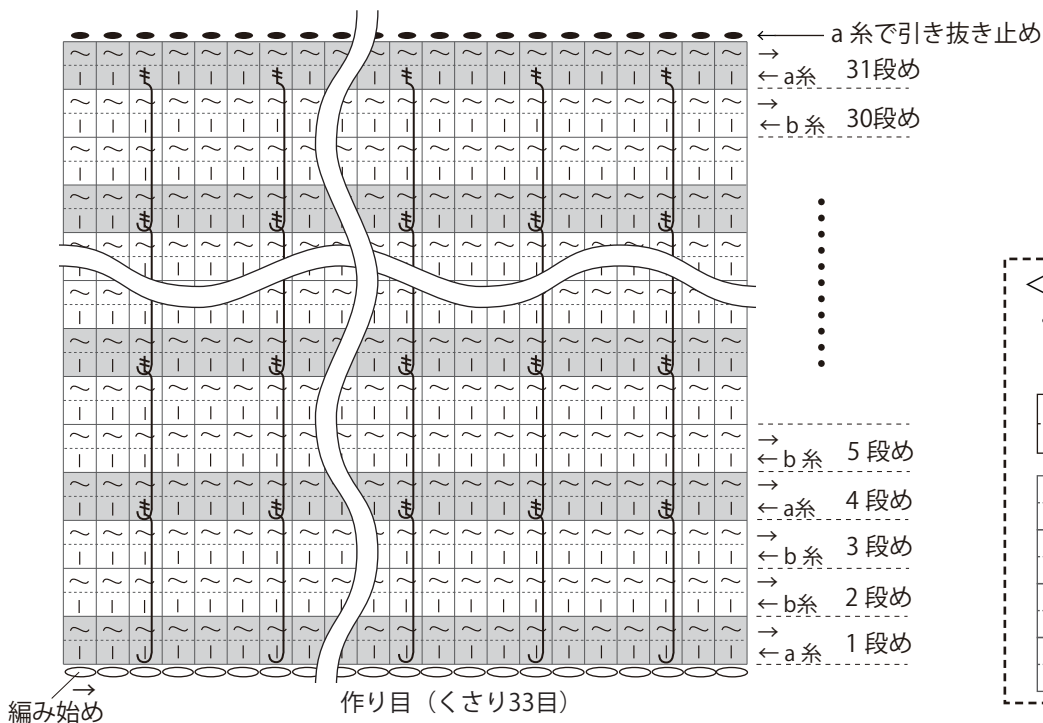
(8) 持ち手(マチ)の反対側に、もう一枚のバッグ本体を同じように細編みでつなぎます(持ち手部分は縁編み)。

(9) とじ針にa糸を通し、底マチの中央部分を巻きかがりで閉じます。糸始末をして完成です。



＜バッグ本体・編み図＞

・同じものを2枚編む。



＜本体と持ち手(マチ)のつなぎ方図＞

＜持ち手(マチ)・編み図＞

- ・a系を使用

